

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 数学 科目 数学B

使用教科書：（ 高等学校 数学B（数研出版） ）

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と社会生活の関わりについて認識を数学化したり、数式的に表現したり、数学的に考察・処理したりする技能を身に付けるようにする。	複雑に変化する現象性に留意し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測・判断したり、母集団のデータを批判的に考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く数値に専念する数学的諦観に基づいて探究しようとする態度、問題解決の過程を通じて考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 数列 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。	・指導事項 数列と一般項、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現して考察すること。 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求める方法について理解すること。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 数列 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。	・指導事項 和の記号Σ、階差数列、いろいろな数列の和、 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 数列 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 カ 数学的帰納法について理解すること。 キ 自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明すること。	・指導事項 漸化式、数学的帰納法 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めることとともに、事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 数学的帰納法について理解し、自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明することともに、他の証明方法と比較し多面的に考察すること。	○	○	○	12
	単元 統計的な推測 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 標本調査の考え方について理解を深めること。 エ 確率変数と確率分布について理解すること。	・指導事項 確率変数と確率分布 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 標本調査の考え方について理解を深めること。 確率変数と確率分布について理解すること。	○	○		12
	定期考査			○	○		1
	単元 統計的な推測 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。	・指導事項 確率変数の和と積、二項分布、正規分布 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 確率変数と確率分布について理解すること。 【思考・判断・表現】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解するとともに、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	単元 統計的な推測 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 カ 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・指導事項 母集団と標本、標本平均の分布、推定、仮説検定 ・教材 47プロセス数学Ⅱ+B（数研出版） 47プロセス完成ノート数学B（数研出版） 一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
							合計
							78